



+日本赤十字社 災害義援金チャリティー

# 第32回全関東 空手道選手権大会

THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

2025年10月5日(日)

会場／アルテンジャパン武道館（茨城県武道館）

主催／国際空手道連盟 極真会館 全関東大会実行委員会

# 関東から 世界をめざせ！

日本赤十字社 災害義援金チャリティー  
第32回全関東空手道選手権大会



主催/国際空手道連盟 極真会館  
全関東大会実行委員会

参加支部・道場  
総本部道場  
総本部代官山道場  
総本部川口道場  
総本部所沢道場  
総本部横須賀道場  
郷田道場  
本部直轄浅草・三郷・草加道場  
本部直轄四谷・飯田橋・熊谷・  
東松山・秩父道場  
東京城東北千住支部  
東京城東小岩支部  
東京城東葛西支部  
東京城東湾岸支部  
東京城西支部  
東京城北支部  
東京城西国分寺支部  
東京城西野方支部  
東京城西世田谷東支部  
東京城西下北沢・町田支部  
東京城南大崎支部  
東京城南京浜支部  
東京城南北目黒中央支部  
東京城南池上支部  
神奈川川崎中央支部  
神奈川横浜北支部  
神奈川横浜東支部  
神奈川横浜港南支部  
神奈川相模原支部  
神奈川湘南支部  
神奈川西湘支部  
神奈川大和支部  
埼玉中央支部  
埼玉西北支部  
埼玉東支部  
埼玉西支部  
埼玉南支部  
埼玉北支部  
埼玉北越谷支部  
埼玉春日部道場  
茨城支部  
茨城中央支部  
千葉北支部  
千葉北西部  
千葉中央支部  
千葉南支部  
千葉下総支部  
千葉東葛支部  
千葉海浜支部  
栃木北支部  
栃木南支部  
群馬西支部  
群馬東支部  
山梨支部  
新潟中央支部  
新潟南道場

総本部札幌道場  
秋田支部  
広島支部

## 大会日程

- 9:00 選手・セコンド入場/受付開始  
9:45 開会式  
10:00 試合開始（各コート決勝戦まで行う）  
12:40 休憩  
13:00 試合再開（各コート決勝戦まで行う）  
15:00 試合終了

※日程は試合の進行状況により変動する場合があります。  
※一般男子・一般女子以外のクラスは表彰式はありません。  
入賞者は表彰ブースで賞状とトロフィーを受け取ってから退場して下さい。

## 第32回全関東空手道選手権大会 大会役員紹介

大会特別顧問

**松井章奎**（国際空手道連盟 極真会館 館長）

大会審議委員会相談役

**待田京介**（国際空手道連盟 極真会館 特別相談役）

大会審議委員長

**郷田勇三**（国際空手道連盟 極真会館 最高顧問・郷田道場 師範）

大会実行委員長

**山田雅稔**（国際空手道連盟 極真会館 総本部長・東京城西支部 支部長）

大会医事

国際空手道連盟 極真会館 医事委員会





国際空手道連盟 極真会館 館長

## 松井章奎

### profile

1963年1月15日、東京都出身。  
極真空手の創始者・大山倍達総裁に憧れ中学時代に極真会館入門。恵まれた素質と不斷の努力により、わずか17歳で全日本大会に初出場し、堂々4位入賞を果たして非凡さを世に知らしめた。1985年第17回、1986年第18回全日本大会優勝。翌1987年の第4回世界大会も制し、大会三連覇を達成。また1986年には極真空手最大の荒行、百人組手を完遂。現役選手時代は俊敏にして華麗な組手から『空手界の貴公子』と称され、多くのファンを魅了した。その後、後進の指導にあたりつつ、大山総裁の下で武道哲学を学び、1994年大山総裁の死去に伴い、総裁の遺志を継ぎ国際空手道連盟極真会館の館長に就任。現在、世界の極真会館の組織活動の運営と極真空手の普及・発展を目指し、東奔西走の日々を送る。

**本**日は、『第32回全関東空手道選手権大会』に御来場いただき誠にありがとうございます。本大会の開催に際し、温かい御支援、御協力を賜りました多くの皆様方に厚く御礼申し上げます。

まず、8月に東北、北陸から九州地方にかけて甚大な被害をもたらした豪雨災害をはじめ、3月に各地で発生した山林火災、昨年能登半島を襲った地震や豪雨など、近年各地で発生している様々な災害によって亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げると共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

また、国際的には2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症によるパンデミックは現在は一定の落ち着きを見せているものの、いつまた同じような感染症のまん延が起こるかも知れず、一方でロシアによるウクライナへの軍事侵攻は開始から3年が経過し、他にもイスラエルとパレスチナに象徴される中東地区の諸問題など、国際情勢はさらに深刻化し混迷を極めています。願わくば、戦禍の中で暮らす人々や不安な日々を送る人々が一日も早く平和で穏やかな生活を取り戻すことができるよう切にお祈り致します。

私共国際空手道連盟 極真会館では、一昨年は創始者・大山倍達生誕100年と最大行事である4年に一度の全世界空手道選手権大会の開催、また昨年は大山倍達没後30年と国際空手道連盟 極真会館 創立60周年の節目の年に当たり、各行事を繰りなく催すことができました。記念年が続く中で皆様方には深い御理解と御協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。

そして今年2025年は、極真会館にとって次の70周年、また将来的には100周年に向けたリスタートの年に当たり、その第1歩とも言える4月の「第7回全世界体重別空手道選手権大会」を無事成功裏に終えることが出来ました。この大会では男子4階級・女子3階級の全7階級で争われ、ロシアが4階級、日本が3階級で優勝するという結果とは別に、世界各国各地域から出場したLKO全体の選手の成長や躍進を実感でき、2年後の2027年に行われる体重無差別の第14回全世界選手権大会に向けた試金石になる大会だったと言えます。

また、現在の世相や国際情勢を憂慮する中で、この世界体重別大会は2023年の第13回世界大会と同様に極真会館の活動指針の一つである「世界平和」をテーマにしたイベントでもありました。武道空手道の普及と社会体育活動によって世界の平和友好を目指すというのは、創始者・大山倍達総裁が常日頃から我々に教示されたことでもあり、大会の中で陸上自衛隊中央音楽隊所属のソプラノ歌手・鶴真衣氏による「反戦」や「故郷」への想いを伝える歌唱は、多くの人に平和の大切さや命の尊さを再認識して頂く良い機会になったことでしょうし、極真会館がこのような活動を通じて世界平和の一助とならんという志を改めて示すものになったと思います。

そして8月には新たに国際空手道連盟に賛助会員として加盟した全日本真正空手道連盟 真正会との共同主催で2年ぶりに全日本体重別空手道選手権大会を、從来行ってきた全日本ウェイト制大会を兼ねる形で開催しました。この大会でも新人選手の台頭やベテラン勢の活躍が見受けられ、年末12月に開催予定の第57回全日本選手権大会に向けて各選手が弾みをつける機会になったと思います。来年からは真正会と大会やイベントのスケジュールを調整し、より密接に交流を深めていく中で從来の国際親善大会や極真祭などの行事をさらに充実させていく予定ですので、ぜひ期待していただくとともに、御理解と御協力をお願い致します。

さて、本大会は、從来の組手の実戦的競技性を受け継ぎ、幼年から壮年までの幅広い層の選手や道場生が日頃の稽古の成果を試す場として、年齢別、体重別等

の各カテゴリーに分かれて『心・技・体』を競い、競技を通じて技術交流や文化的親睦を深めるという主旨で開催されます。私共極真会館としては、こういった多くの参加者が集う競技大会を継続的に行なうことで、各地域における社会体育活動に勤しんで参りたいと考えております。

その一方で、極真会館が『競技団体』ではなく『武道団体』であるとすれば、極真会館においての競技会・大会というのは、一つの修行の場でなければなりません。『実践なんくんば証明されず、証明なんくんば信用されず、信用なんくんば尊敬されない』という実践主義における実戦空手としての『実戦性』が示されること。師が『地に沿った基本、理に適った型、華麗なる組手』『品格のある空手』『理念のある空手が極真空手である』と常々教示されたように、美しい技の競い合いがなされる『競技性』が示されること。そして試合である以上は、『安全性』が担保されていること。またそこに極真精神を象徴する『武道性』が顕れる大会でなければならないということです。この『実戦性』、『競技性』、『安全性』、そして『武道性・精神性』 = 『極真性』を示せる『修行の場』としての競技会・大会ですから、出場される選手の皆さんは、これまで様々な局面で経験してきた『心・技・体』の向上を活かし、自身の力を存分に發揮して、競技を通じ多くの刺激を得て今後の活動や各々の日々の生活においてプラスに転化させてほしいと願っています。

また、私達は、師から極真は『勝負偏重主義』であると教示されてきました。これは決して『勝利至上主義』ではなく、『勝』『負』のそれぞれを同様に重んじ受け止めるという精神です。試合には必ず勝者・敗者が生まれますが、『勝って驕らず、負けて挫けず』の精神を以て、各々がそこで得た結果を受け入れ、学んだことを明日からの稽古に活かし、さらなる成長を目指すということですので、選手の皆さんはぜひこの主旨を心に刻み、正々堂々と本日の試合に臨んでいただきたいと思います。

国際空手道連盟 極真会館は、師が教示した空手道の『真を極める』という志をその団体名とし、『頭は低く、目は高く、口を慎んで心広く、孝を原点として他を益する』という極真の理念に基づいて1964年に創設された武道団体です。日々稽古に精進する中で『最強』『一撃必殺』といった武術の理想を追求すると共に、2011年『極真会館・命知元年』で示した『世界平和を目指し、武道空手道の普及による社会体育活動を通じて、社会に有用たる人材の育成に努める』という団体活動目的と『最強求道の志・相互互恵の志・永続繁栄の志』という3つの団体活動指針を基盤としています。日本の優れた伝統文化である武道精神と空手道の普及によって健全な青少年、健全な若者の育成と人格の陶冶を目指し、シニア世代の健康増進や社会福祉、国際交流など、『武道を通じて社会に貢献する』『武道を通じて世界平和に寄与する』という信念の下、今後も様々な活動に邁進していく所存です。

尚、極真会館では2011年3月の東日本大震災以降、国内の全ての大会や行事を災害義援金チャリティーとして開催しております。被災された各地の一日も早い復興を願い、今後も継続的にチャリティー活動を行ってまいりますので、引き続き御理解と御協力を賜わりますよう宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、改めて本大会開催にあたり多くなる御支援、御協力を賜りました全ての皆様方に敬意を表し、衷心より感謝を申し上げ、私の挨拶に代えさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

第32回全関東空手道選手権大会

## 会場図と各コートの試合カテゴリー

本部席			
<b>A</b> コート 【総本部・四谷道場】	<b>B</b> コート 【城東地区】	<b>C</b> コート 【埼玉地区】	<b>D</b> コート 【浅草・城南地区】
壮年40歳～44歳－70kg 壮年45歳～49歳－70kg 壮年45歳～49歳－80kg 壮年45歳～49歳＋80kg 壮年50歳以上－70kg 壮年50歳以上－80kg 壮年50歳以上＋80kg	高校2・3年生男子－75kg 高校2・3年生男子＋75kg 高校生女子＋50kg 壮年35歳～39歳－70kg 壮年35歳～44歳＋80kg 壮年40歳～44歳－80kg 35歳以上女子 一般男子新人戦－70kg 一般男子新人戦＋70kg 一般女子－55kg 一般女子＋55kg 一般男子－60kg 一般男子－70kg 一般男子－80kg 一般男子＋80kg	中学2・3年生男子－55kg 中学2・3年生男子＋55kg 中学生女子－45kg 中学生女子＋45kg 高校1年男子－65kg 高校1年男子＋65kg 高校2・3年生男子－65kg	小学5年女子－35kg 小学5年女子＋35kg 小学6年女子－40kg 小学6年女子＋40kg 中学1年男子－50kg 中学1年男子＋50kg
<b>E</b> コート 【城西地区】	<b>F</b> コート 【千葉地区】	<b>G</b> コート 【茨城・栃木地区】	<b>H</b> コート 【神奈川地区】
幼年男女混合 小学1年男子 小学1年女子 小学2年男子 小学2年女子 小学3年女子－30kg 小学3年女子＋30kg	小学3年男子－30kg 小学3年男子＋30kg 小学5年男子－35kg	小学4年男子－35kg 小学4年男子＋35kg 小学4年女子－35kg 小学4年女子＋35kg	小学5年男子＋35kg 小学6年男子－40kg 小学6年男子＋40kg

★入賞者について……3名以下のトーナメントは優勝者のみ、4名～7名は優勝・準優勝の2名、8名以上は優勝・準優勝・3位(2名)の4名。一般男子・女子は3位決定戦を行い、7名以下は優勝・準優勝・3位の3名、8名以上は優勝・準優勝・3位・4位の4名。

## 試合規定(ルール)・防具規定について

組手試合クラス	本戦	延長戦	体重判定	再延長戦
幼年／小学1年～4年男子／小学1年～4年女子	1分30秒	1分30秒	なし	なし
小学5年～6年男子／小学5年～6年女子／中学生	1分30秒	1分30秒	なし	なし
高校生	2分	2分	なし	なし
壮年男子／女子35歳以上	1分30秒	1分30秒	なし	なし
一般男子新人戦	2分	2分	なし	なし
一般女子(予選)	2分	2分	有効差3kg	2分
一般男子(予選)	2分	2分	有効差3kg	2分
一般男子・一般女子(準決勝より)	本戦	延長戦	再延長戦	体重判定
	3分	2分	2分	有効差3kg
				2分

	ヘッドガード	マウスガード	金的カップ(男子)	胸パッド(女子)	下腹部ガード(女子)	拳サポーター	脛サポーター	膝サポーター	胴プロテクター
幼年	公認品 又は 指定品※1	なし	既製品	公認品・任意	公認品・任意	公認品	公認品	公認品	なし
小学1年生～6年生 男子				なし	なし				
小学1年生～4年生 女子			なし	公認品・任意	公認品・任意				
小学5年生～6年生 女子				公認品	公認品				
中学生男子	公認品※2	歯科医作成品	既製品	なし	なし	一撃オープン フィンガー	公認品	公認品	公認品
中学生女子			なし	公認品	公認品				
高校生男子			既製品	なし	なし				
高校生女子			なし	公認品	公認品				
一般女子／女子35歳以上		公認品 (極真会館公認 マウスガード)	なし	公認品	公認品				
壮年男子			なし	公認品	公認品				
一般男子新人戦			既製品	なし	なし				
一般男子	なし	任意				なし	なし	なし	なし

※1／公認品は「一撃リバーシブルヘッドガードHG-21」に「専用面」を取り付けたもの。イサミ製CKW-10、TT-25、TN-10の指定品は現在所持しているものに限り暫定的に使用可  
イサミ製のヘッドガードと一撃の面金を組み合わせて使用することは不可

※2／公認品は「一撃リバーシブルヘッドガードHG-21」(面なし)と以前から使用していた「一撃リバーシブルヘッドガード」

※中学生は胴プロテクターの着用が義務付け。任意で胴プロテクターの下に白色無地のTシャツを着用することができます。女子は胴プロテクターの下にチェストガード(公認品)を装着

# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

第32回全関東空手道選手権大会

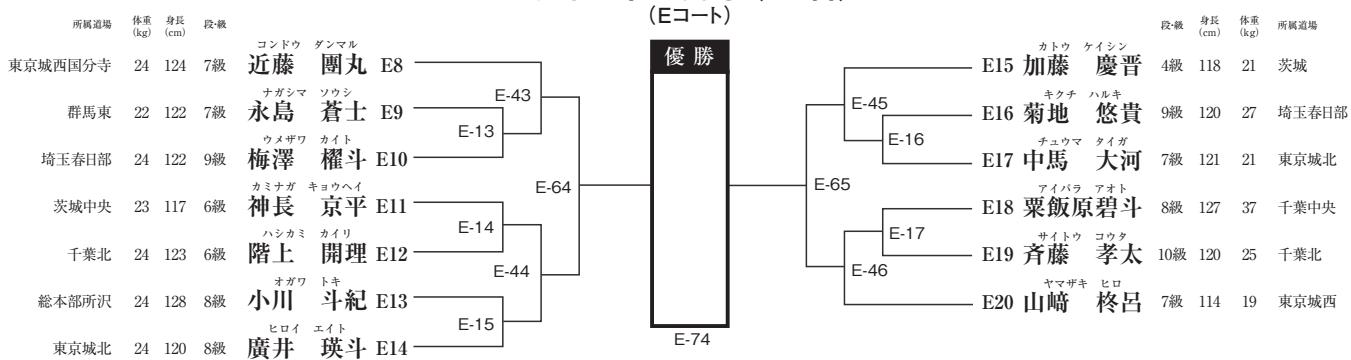
## 幼年男女混合(7名)

(Eコート)



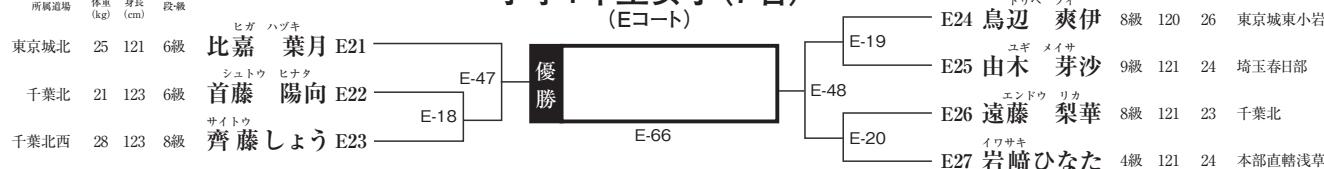
## 小学1年生男子(13名)

(Eコート)



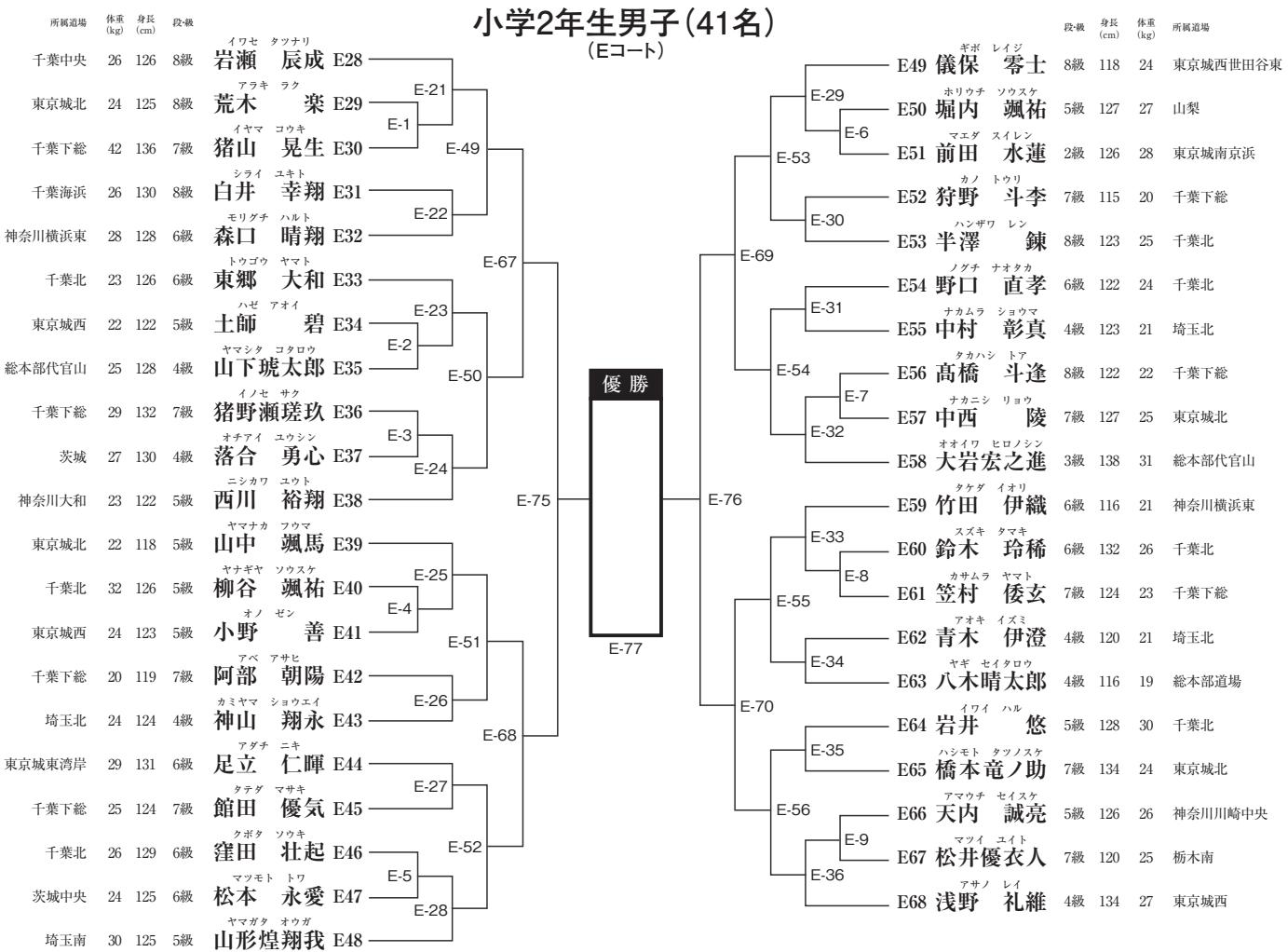
## 小学1年生女子(7名)

(Eコート)



## 小学2年生男子(41名)

(Eコート)

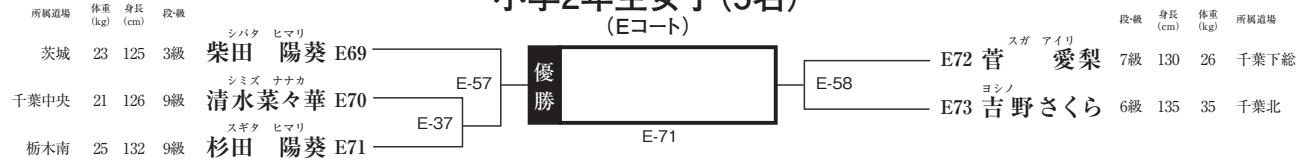


# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

## 第32回全関東空手道選手権大会

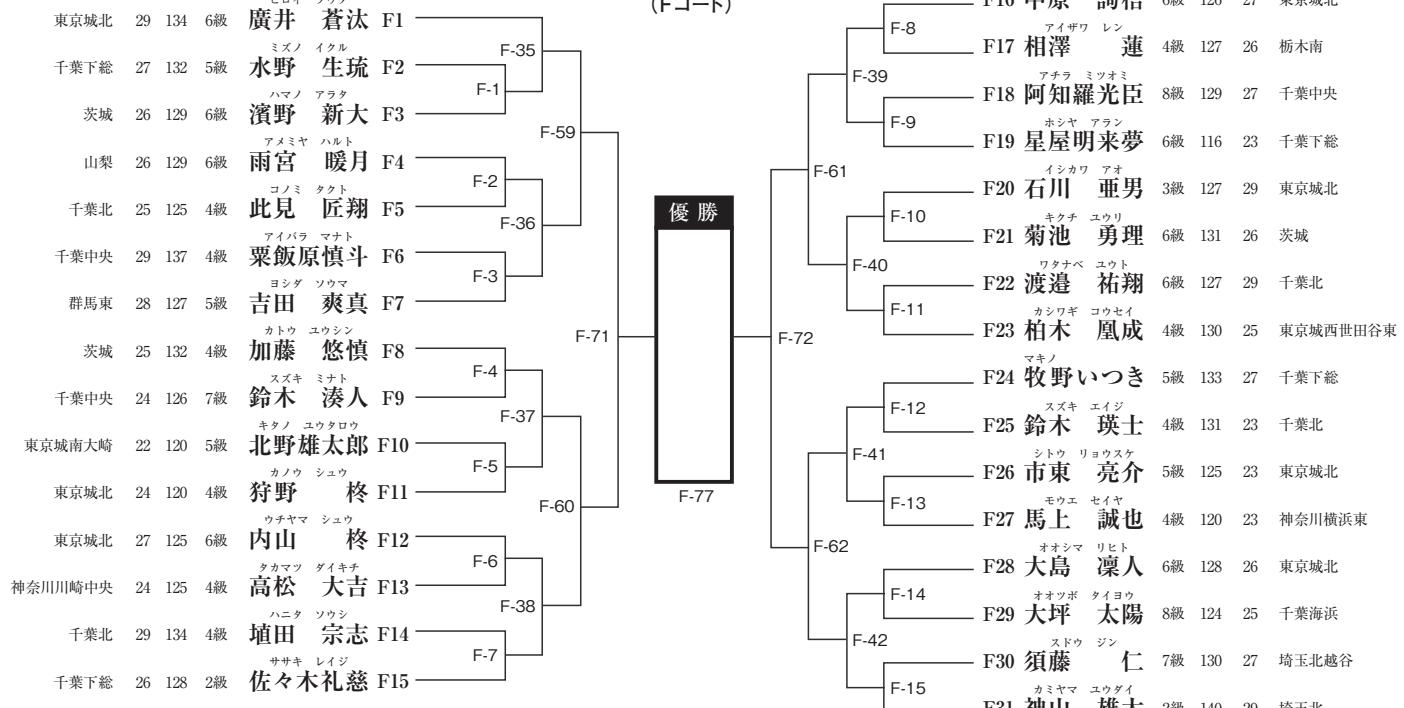
### 小学2年生女子(5名)

(Eコート)



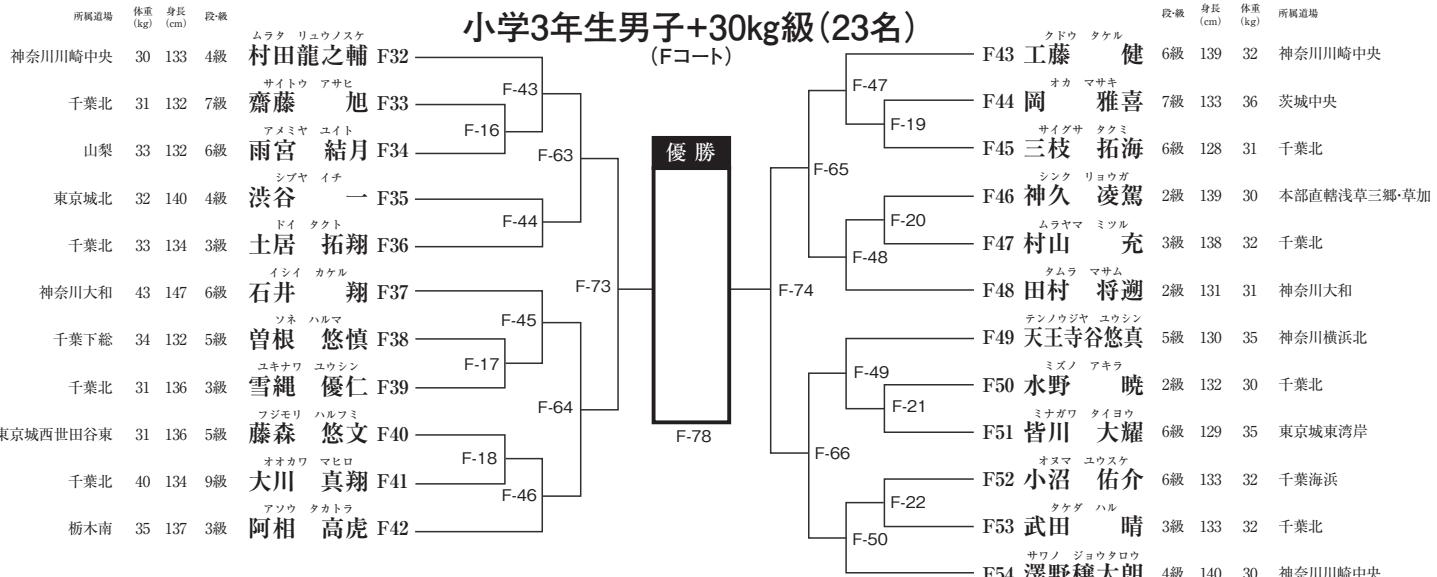
### 小学3年生男子-30kg級(31名)

(Fコート)



### 小学3年生男子+30kg級(23名)

(Fコート)



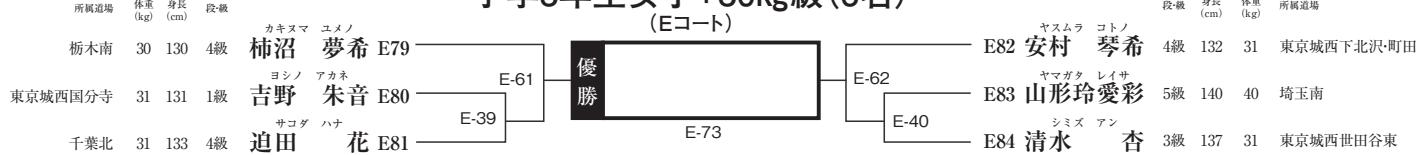
### 小学3年生女子-30kg級(5名)

(Eコート)



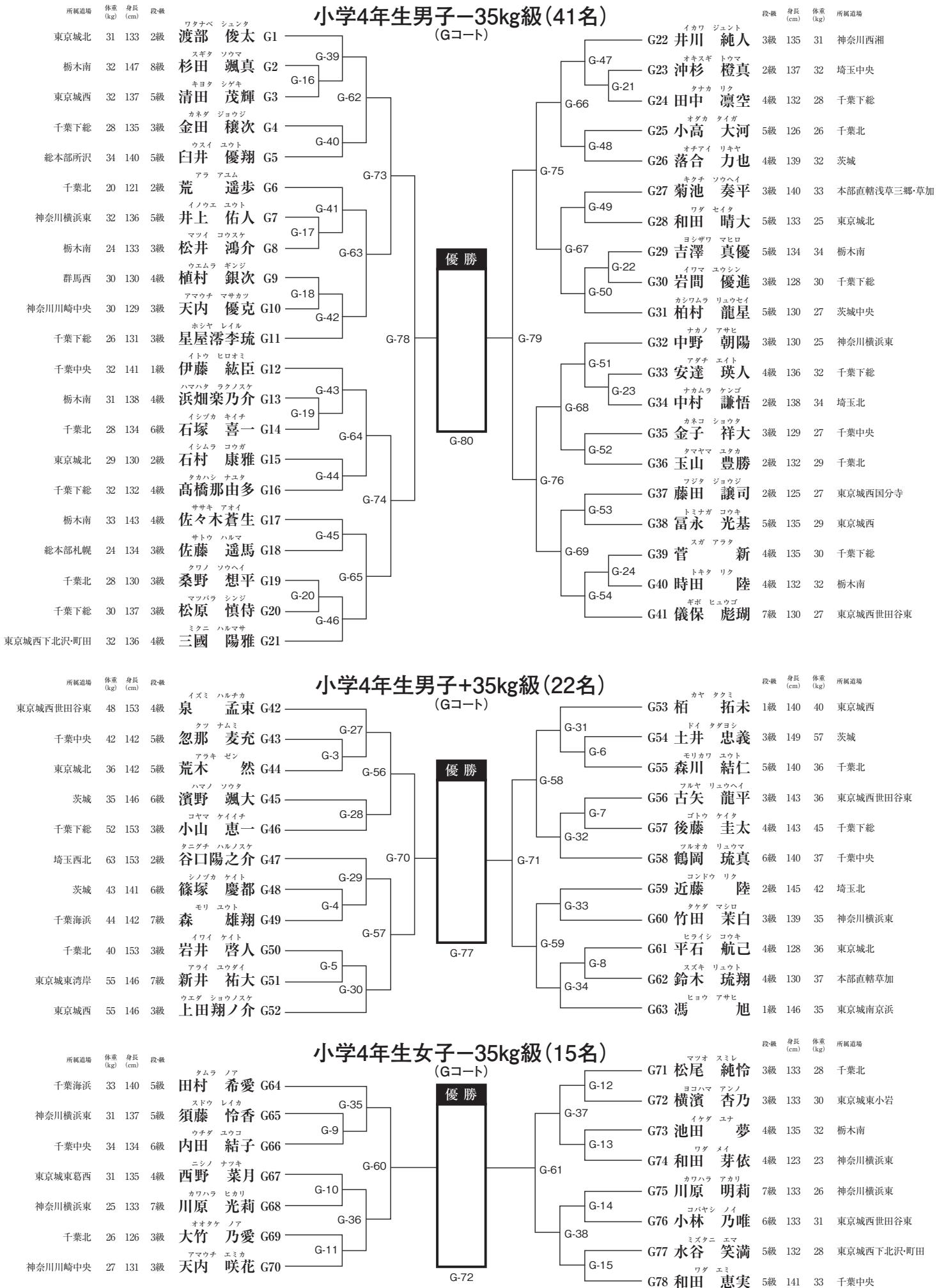
### 小学3年生女子+30kg級(6名)

(Eコート)



# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

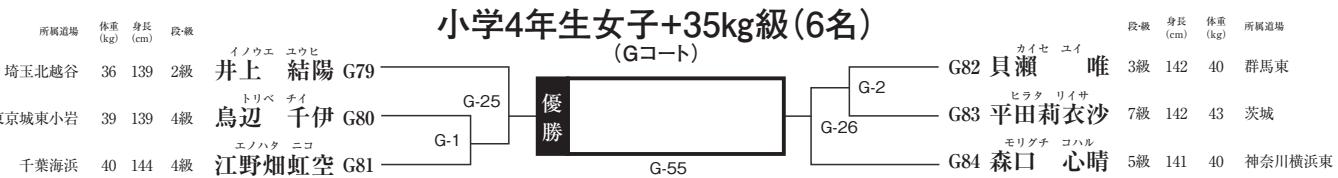
## 第32回全関東空手道選手権大会



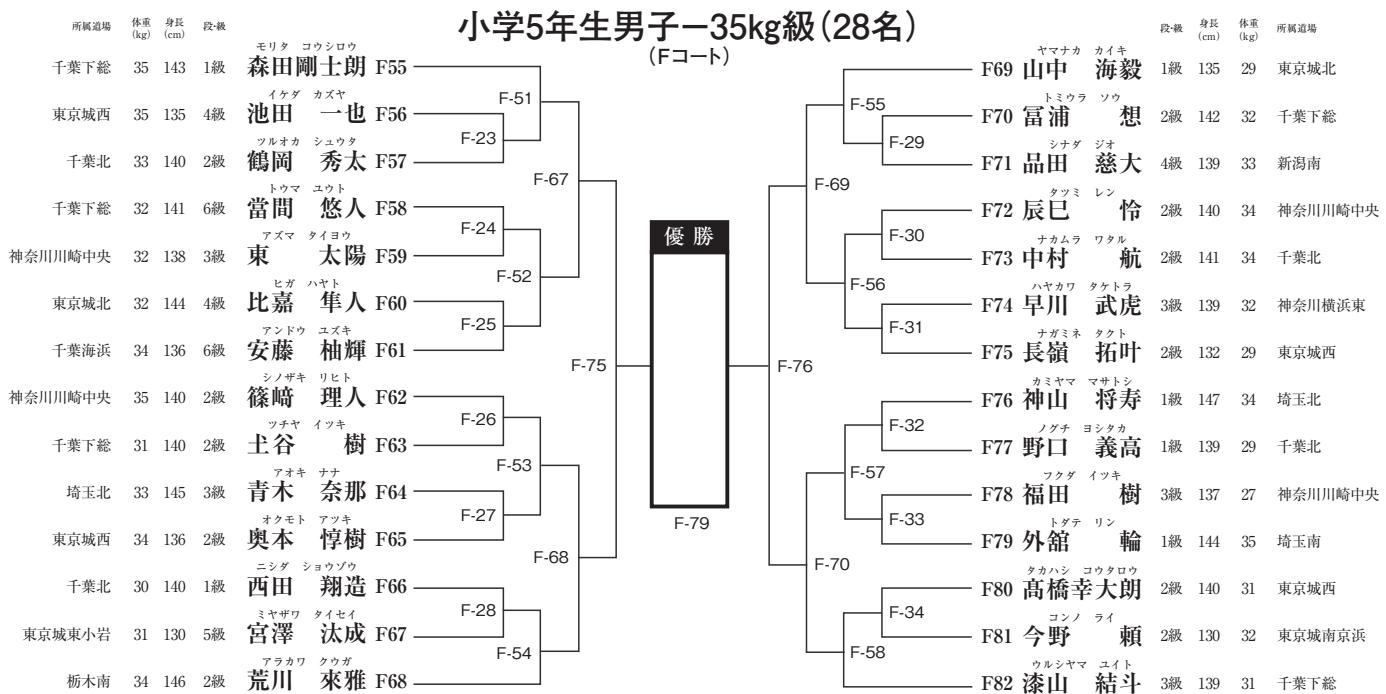
# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

第32回全関東空手道選手権大会

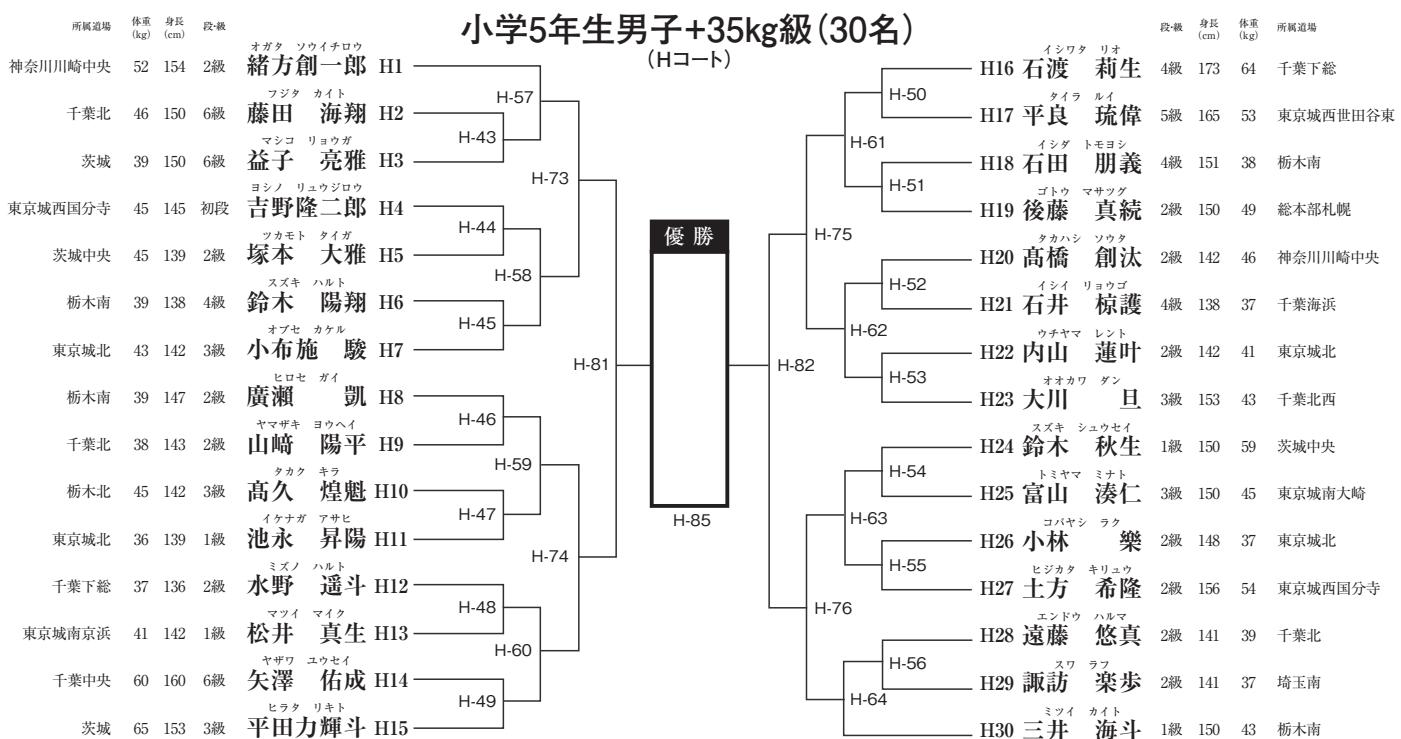
## 小学4年生女子+35kg級(6名)



## 小学5年生男子-35kg級(28名)

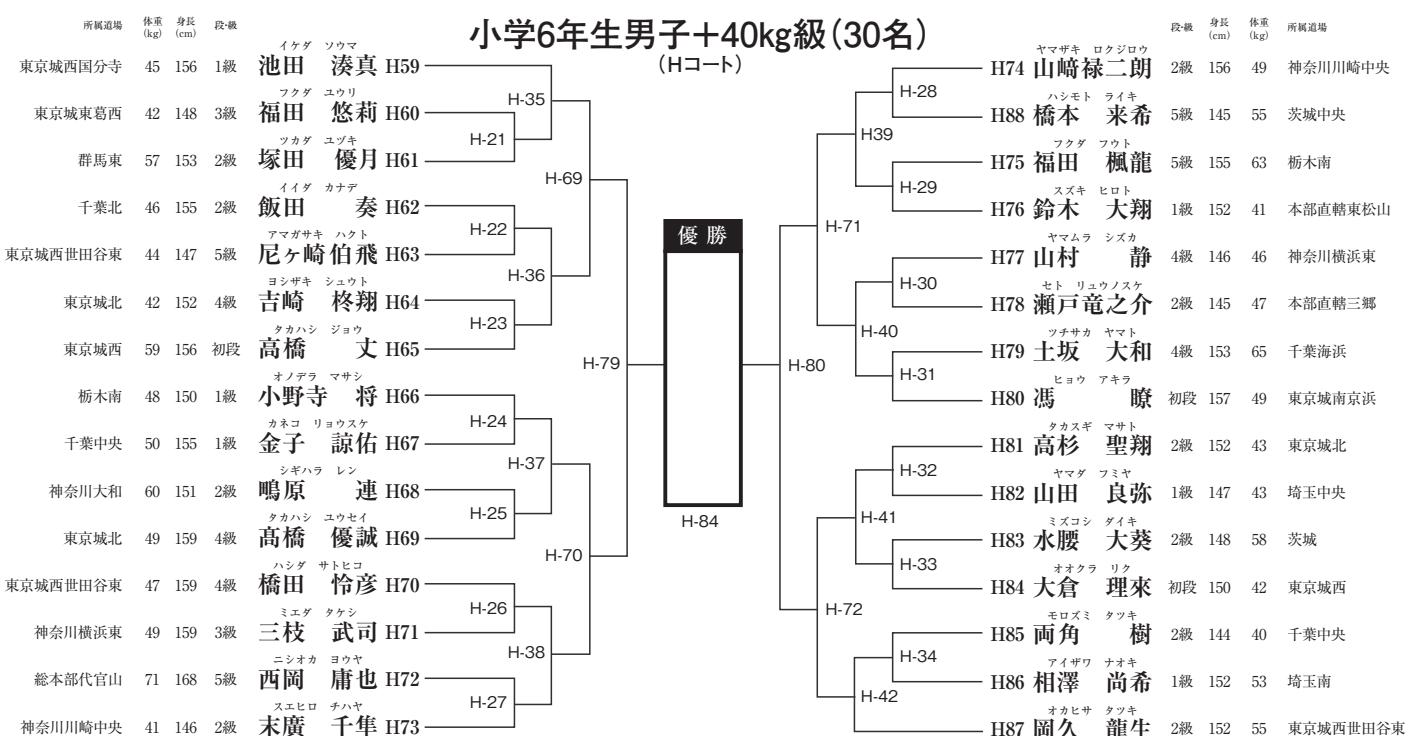
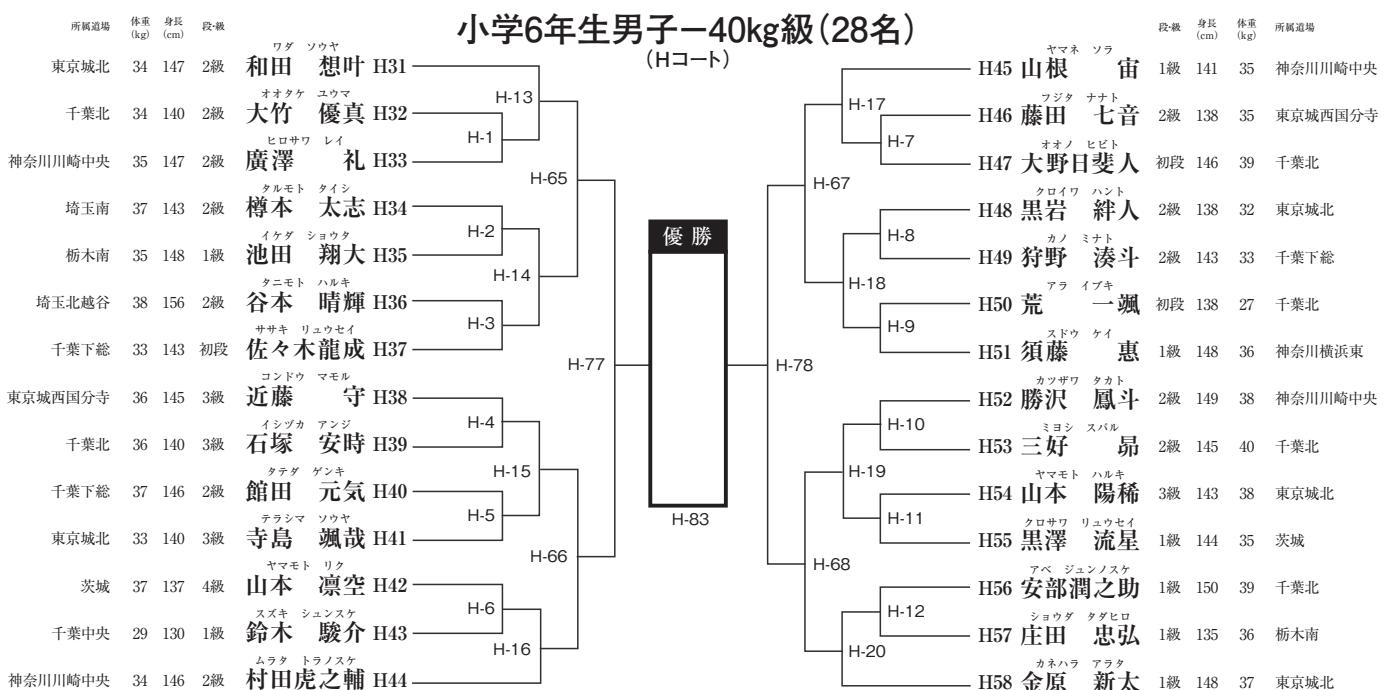
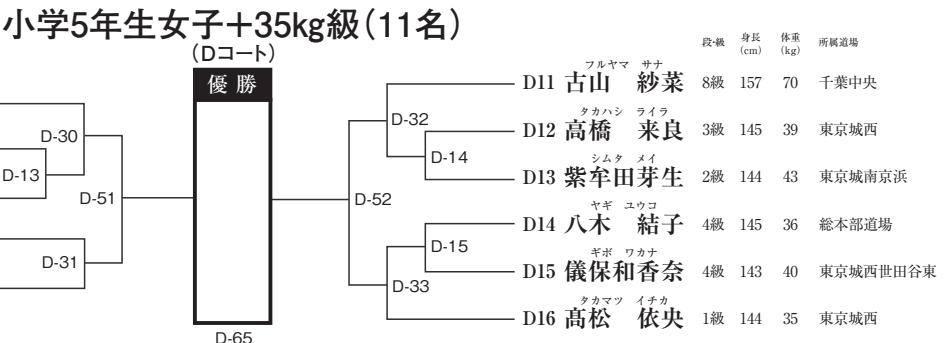


## 小学5年生男子+35kg級(30名)



# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

## 第32回全関東空手道選手権大会



# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

## 第32回全関東空手道選手権大会

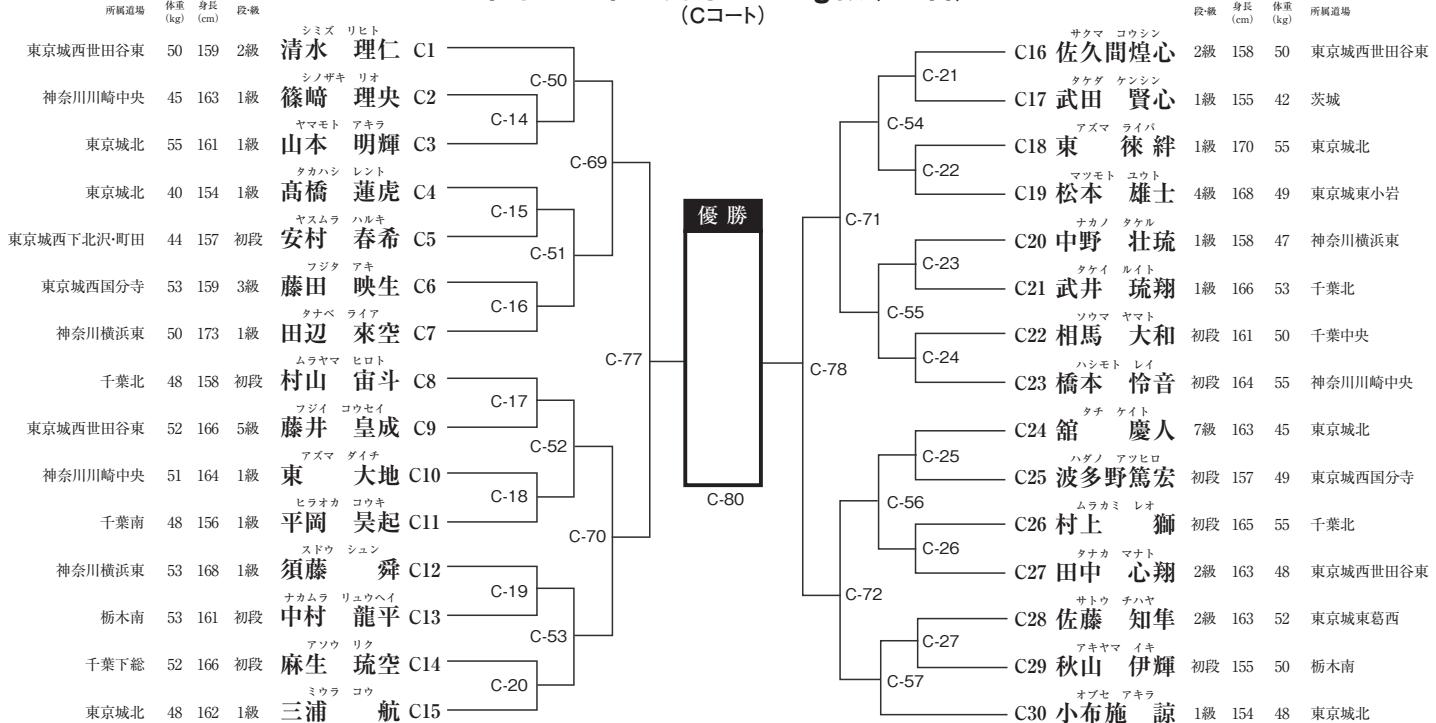


# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

## 第32回全関東空手道選手権大会

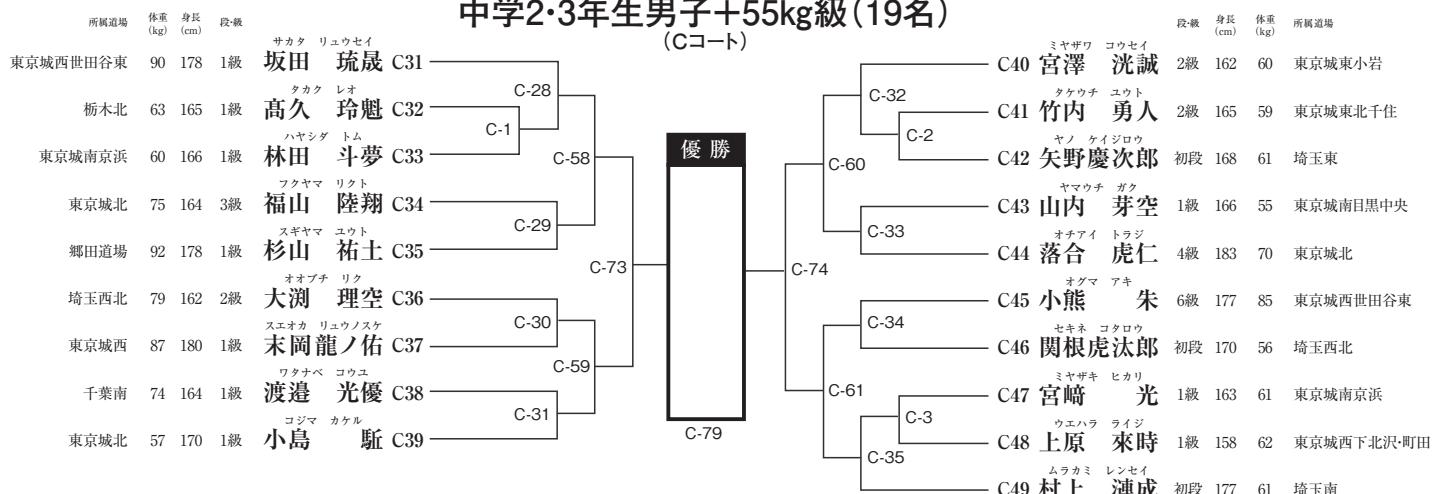
### 中学2・3年生男子-55kg級(30名)

(Cコート)



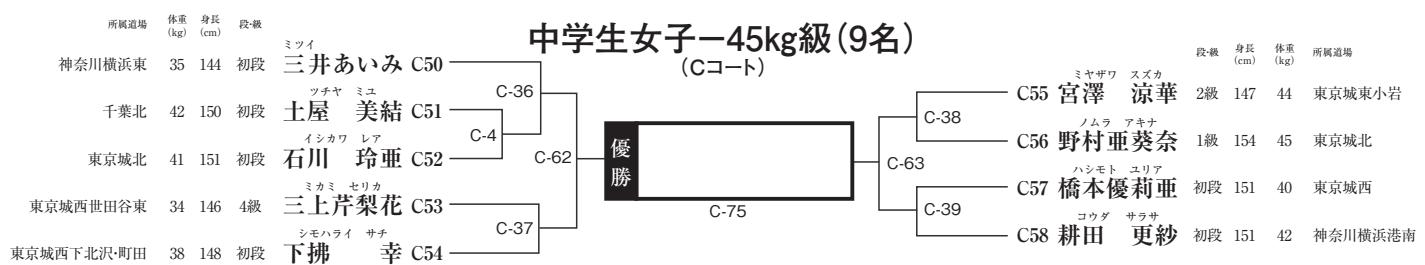
### 中学2・3年生男子+55kg級(19名)

(Cコート)



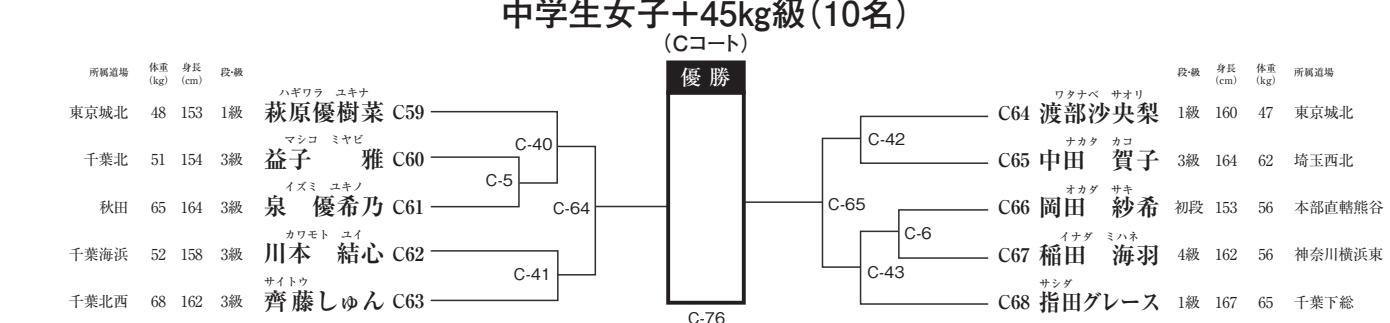
### 中学生女子-45kg級(9名)

(Cコート)



### 中学生女子+45kg級(10名)

(Cコート)

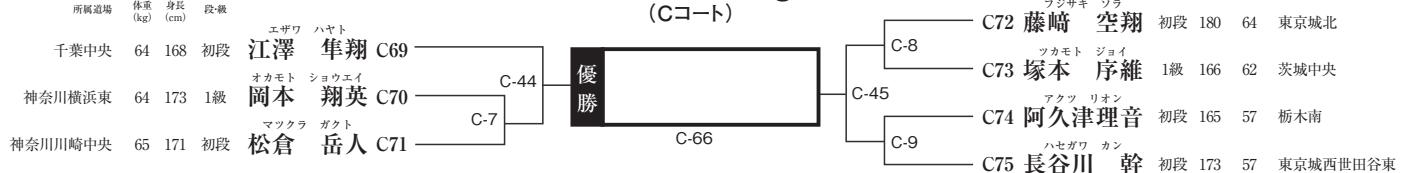


# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

## 第32回全関東空手道選手権大会

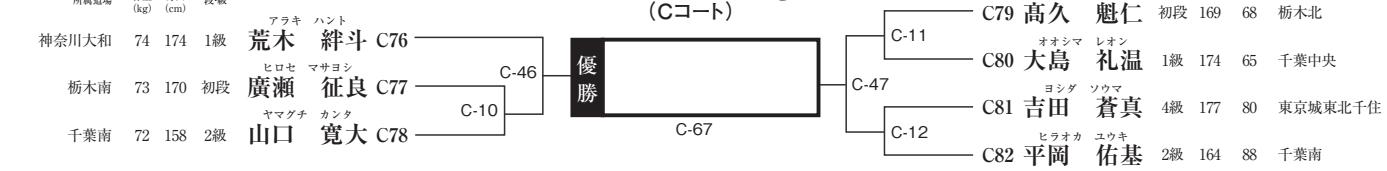
### 高校1年生男子-65kg級(7名)

(Cコート)



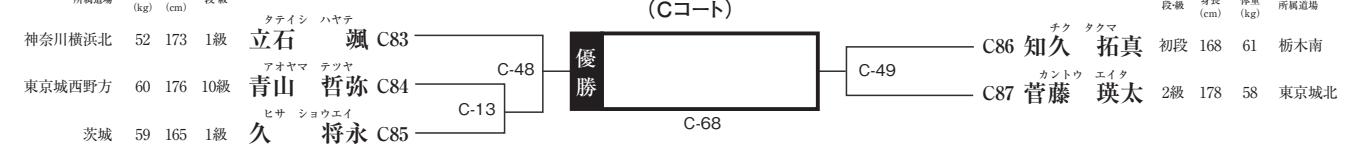
### 高校1年生男子+65kg級(7名)

(Cコート)



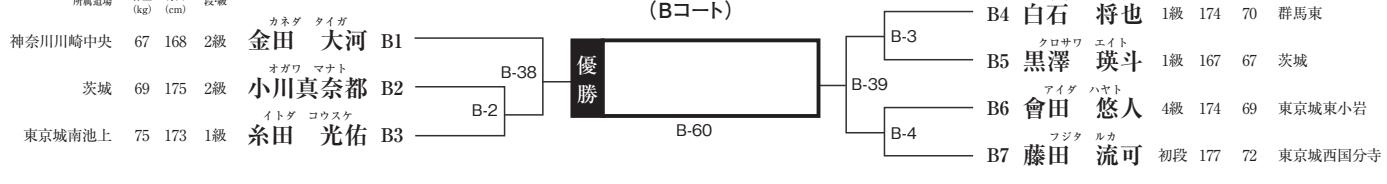
### 高校2・3年生男子-65kg級(5名)

(Cコート)



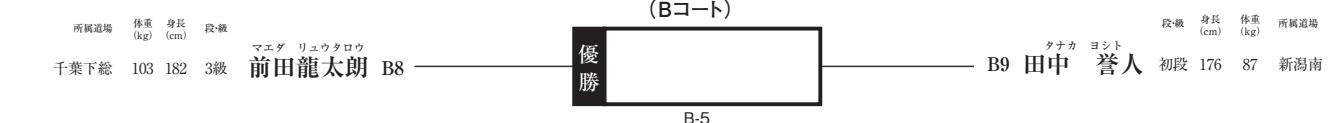
### 高校2・3年生男子-75kg級(7名)

(Bコート)



### 高校2・3年生男子+75kg級(2名)

(Bコート)



### 高校生女子+50kg級(5名)

(Bコート)



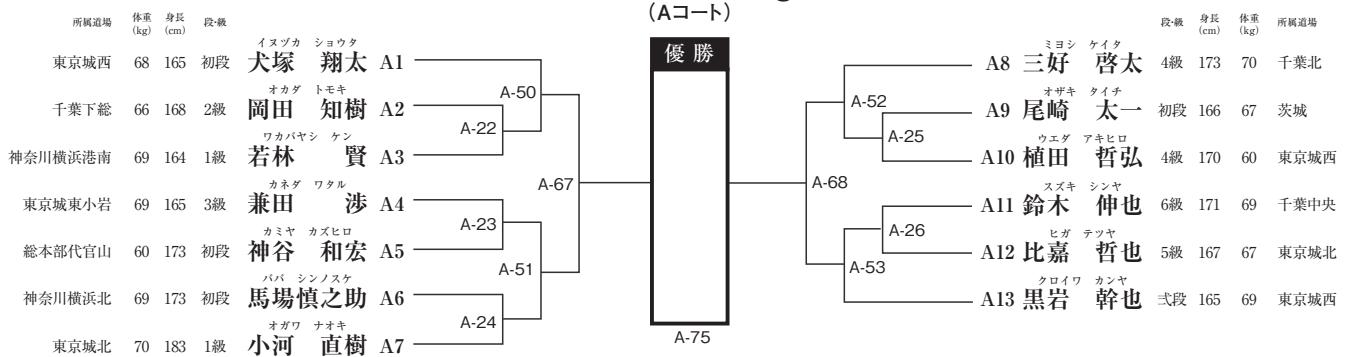
### 壮年35歳～39歳-70kg級(2名)

(Bコート)



### 壮年40歳～44歳-70kg級(13名)

(Aコート)

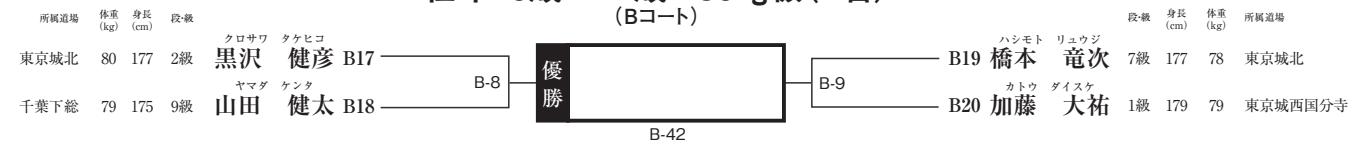


# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

## 第32回全関東空手道選手権大会

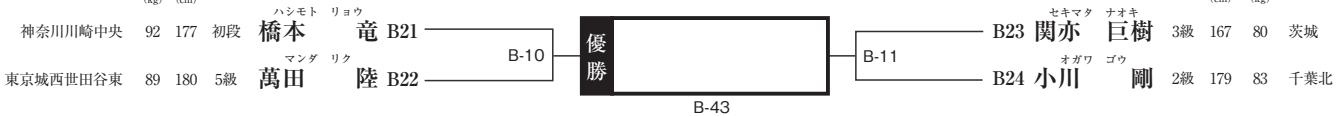
### 壮年40歳～44歳-80kg級(4名)

(Bコート)



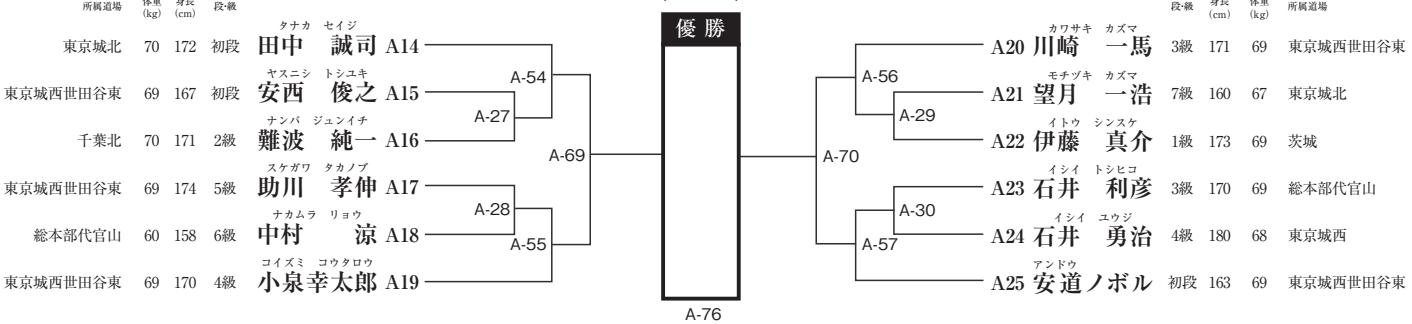
### 壮年35歳～44歳+80kg級(4名)

(Bコート)



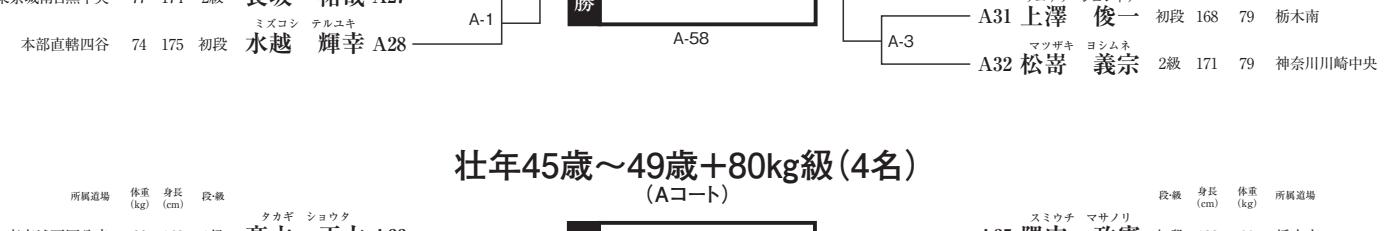
### 壮年45歳～49歳-70kg級(12名)

(Aコート)



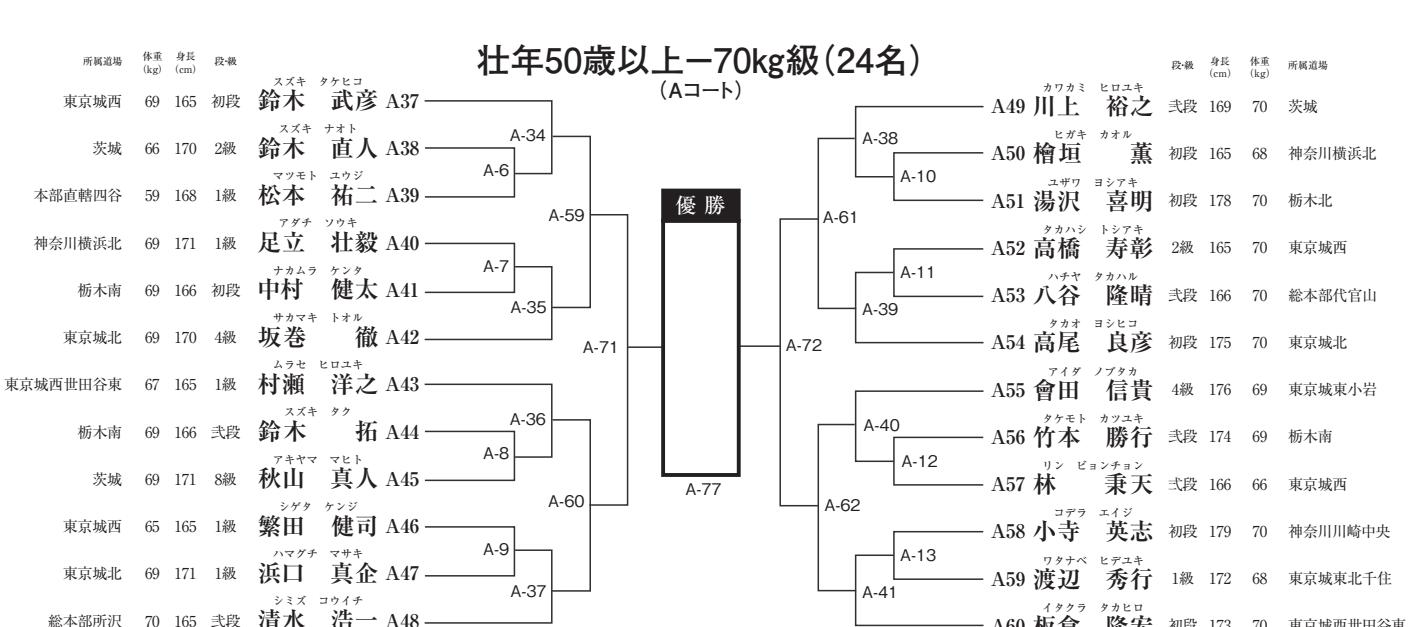
### 壮年45歳～49歳+80kg級(4名)

(Aコート)



### 壮年50歳以上-70kg級(24名)

(Aコート)

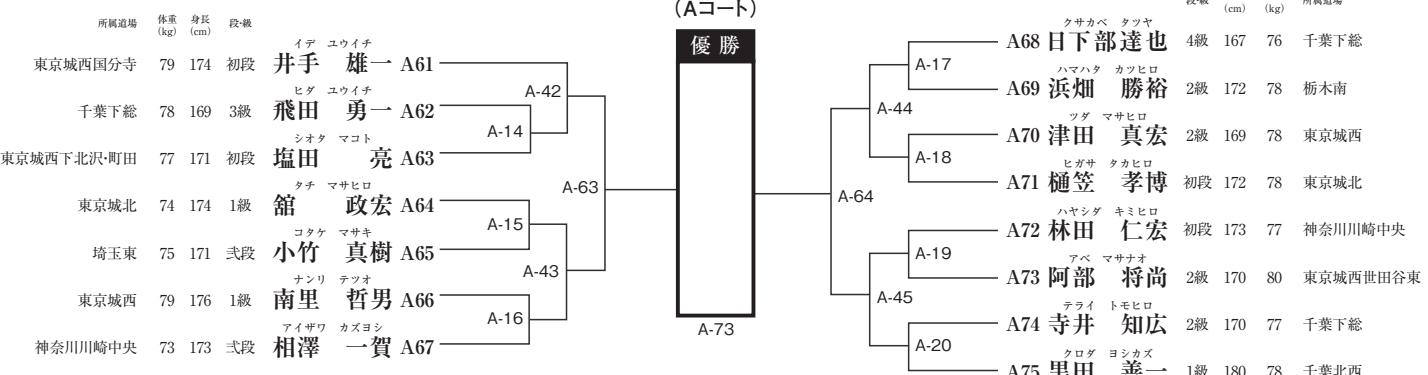


# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

## 第32回全関東空手道選手権大会

### 壮年50歳以上-80kg級(15名)

(Aコート)



### 壮年50歳以上+80kg級(9名)

(Aコート)



### 女子35歳以上(6名)

(Bコート)



### 一般男子新人戦-70kg級(6名)

(Bコート)



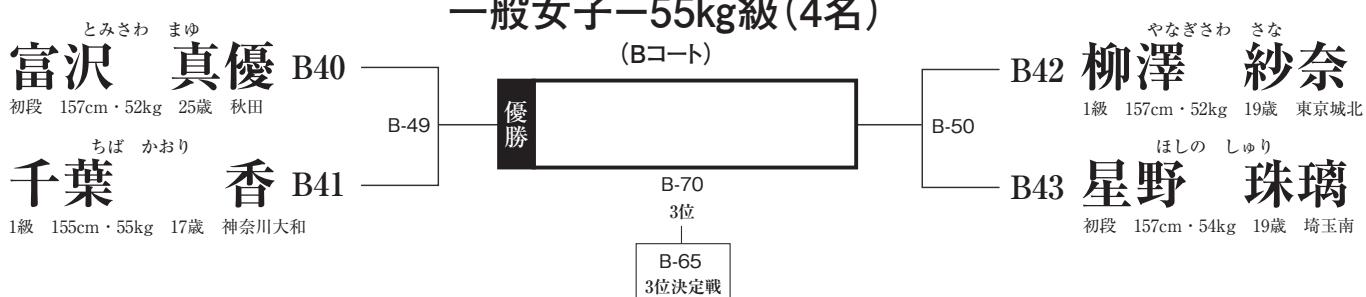
### 一般男子新人戦+70kg級(3名)

(Bコート)

段級	身長(cm)	体重(kg)	所属道場	青山	増田	倪	結果
アオヤマ カズキ							
B37 青山 和樹	7級	176	75	東京城西野方	B-16	B-48	勝敗
マスダ ヨウスケ							
B38 増田 洋祐	3級	162	77	千葉北	B-16	B-64	勝敗
ニ セキテン							
B39 倪 石天	4級	177	92	東京城東湾岸	B-48	B-64	勝敗

# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

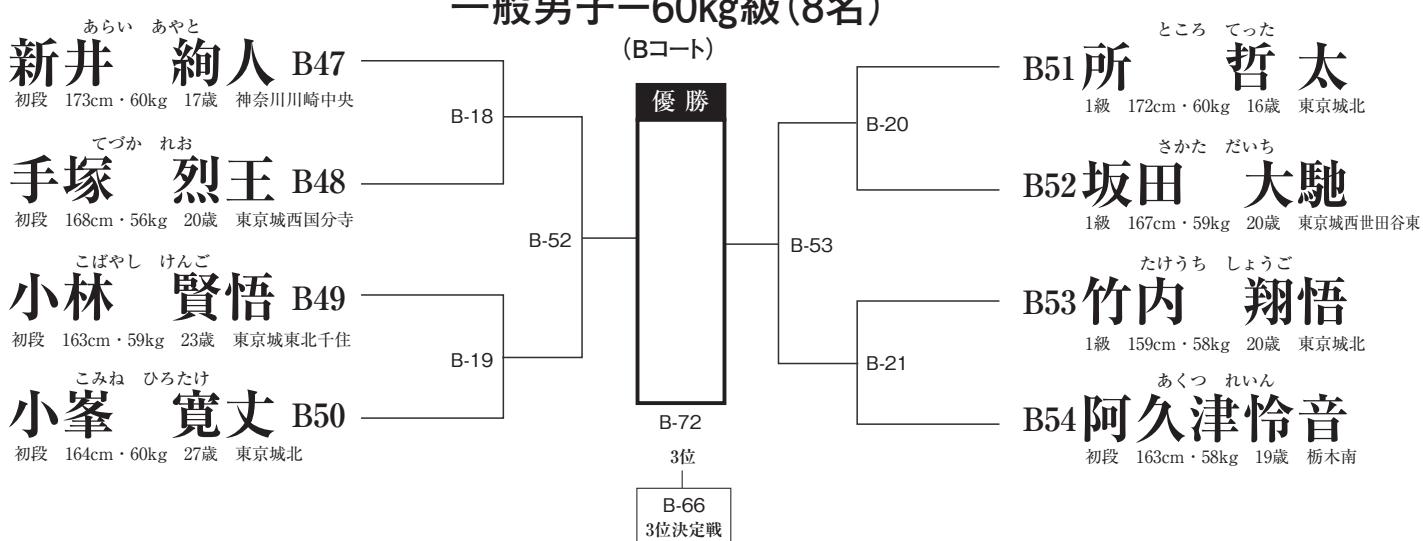
第32回全関東空手道選手権大会



**一般女子+55kg級(3名)**  
(Bコート)

段・級	身長(cm)	体重(kg)	年齢	所属道場	デイミトロ	河合	池田	結果
B44 デイミトロ ヴァツエンカ	6級	160	58	30歳 東京城西世田谷東		B-17	B-51	勝敗
B45 河合 風香	2級	170	66	27歳 広島	B-17		B-71	勝敗
B46 池田 心結	初段	161	55	19歳 東京城西世田谷東	B-51	B-71		勝敗

**一般男子-60kg級(8名)**  
(Bコート)

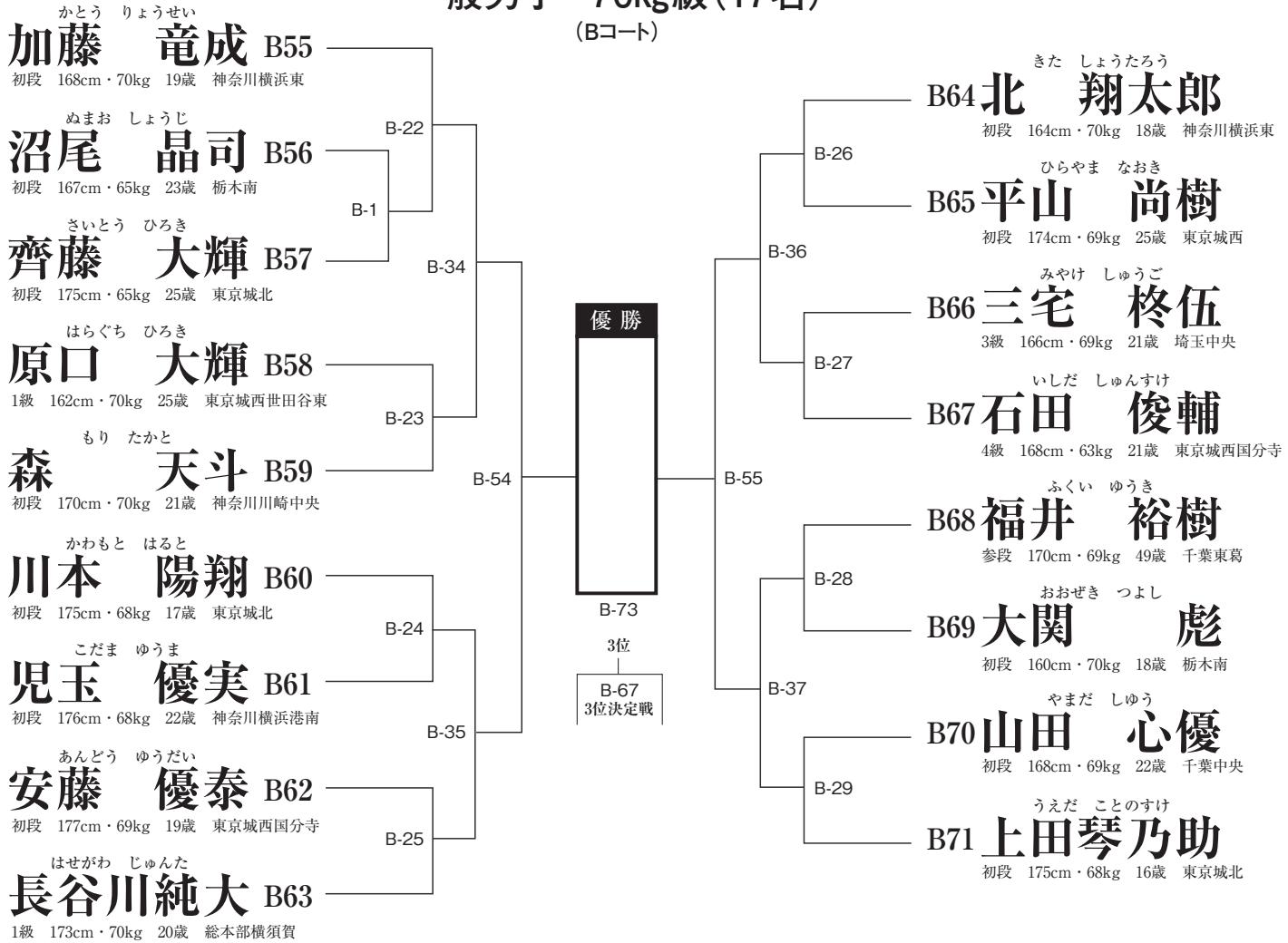


# THE 32ND ALL KANTO KARATE CHAMPIONSHIPS

# 第32回全関東空手道選手権大会

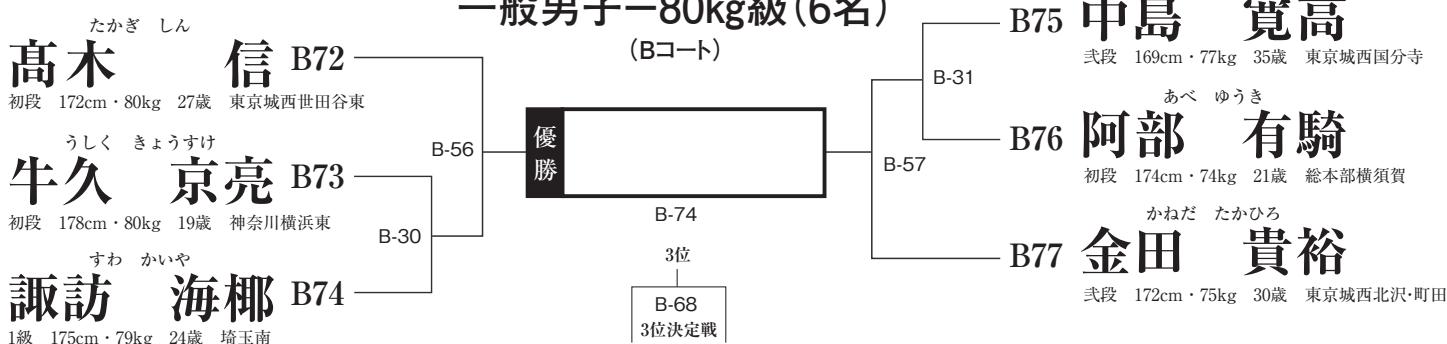
## 一般男子-70kg級(17名)

(Bコート)



## 一般男子-80kg級(6名)

(Bコート)



## 一般男子+80kg級(6名)

(Bコード)

